



レコードタイムを更新してポールポジションを獲得した中須賀克行

JSB 1000 QUALIFYING PRACTICE REPORT & INTERVIEW

中須賀克行がコースレコードを更新! ダンロップの進化と共に波に乗りたい加賀山就臣 復帰したゼッケン1秋吉耕佑は今年初の全日本に臨む

今回のSUGOラウンドから本格的にシリーズ後半戦がスタートした全日本ロードレース選手権。最高峰のJSB1000クラスは、第3戦筑波から約3カ月ものインターバルを空けてのレースとなる。3レースを終え、JSB1000クラスは、中須賀克行が2勝を挙げ、ポイントでリード。高橋巧が11ポイント差、加賀山就臣が12ポイント差で追う展開となっている。事前テストは、6月中旬に行われたが、気温を始めコンディションが違いため、そのときのデータはほとんど使えない状態。Honda、カワサキは8月上旬にテストを行い、ヤマハの中須賀は、先週行われた全日本参加ライダー向けのスポーツ走行でテストを行っていた。一方、今回が復帰戦となる秋吉耕佑は、直前にテストを行わずにレースウィークを迎えていた。

金曜、土曜と残暑の厳しいコンディションのもとで各セッションは行われた。ここでセッションをリードしたのは中須賀だった。初日から1分27秒5をマーク。ノックアウト方式で行われた公式予選の最終セッションでは、1分27秒370をマーク。これまで伊藤真一が持っていたコースレコード1分27秒523を2年振りにブレイクした。

「ベストタイムを出した周は、全身全霊をかけて集中したし渾身のアタックでした。実際、走っていて体力的につらかったけれど、

レコードを更新することができてよかった。アベレージは、28秒台中盤ぐらいで、序盤は27秒台に入ると思う。レースは、ポカミスだけは、しないようにしたいですね」と中須賀。すでに馴染んできていると思うが、ブリヂストンを履いてSUGOでレースをするのは、今回が初めてのことと言うことを忘れてはならない。

そして2番手につけた加賀山就臣も今シーズンからダンロップにスイッチ。Team KAGAYAMAでタイヤの開発を担い、進化してきた成果が目に見えて出ている。「確実にダンロップさんがステップアップしてきているのが分かるでしょう。Q1、Q2と同じタイヤを通して走っていたし、うまくレースメイクして、しっかり戦いたいと思います」とコメント。

そして帰ってきたゼッケン1、秋吉がフロントロウ最後の3番手につけた。「レースは、なるべく28秒台に入らないようにして、27秒台後半で走りたいですね。まだ、そこまで攻められるか分からない部分もあるのですが、ウィークに入ってからにしては、まずまずまとまった感じです」と秋吉。

トップ3が27秒台をマークしているのに対し、4番手の高橋は、1分28秒台を切ることができなかった。「8月上旬のテストのときは、いいフィーリングだったのですが、レースウィークに入ると全く違う感じになってしまい、

予選まで使っているいろいろセットをしてきましたがスムーズに走れていないですね。決勝朝のウォームアップでバシッと決めて、いいレースをしたいです」と、ランキング上でも追いつきたいところだが、やや苦戦気味だ。

カワサキのエース柳川明は「自己ベストは更新しているのですが、みんな速いですが、うまくまとめれば28秒台前半まではいくのですが、27秒台になると難しい状況です。自分のペースを守って、終盤に勝負できる場所にいたいですね」とコメント。

トップ争いは、中須賀、加賀山、秋吉の3人が繰り広げることになりそうだ。コンディションにもよるが、レース序盤は、1分27秒台というハイペースでの展開になるだろう。1分27秒台という“ふるい”に残った者が表彰台の中央に上がることになる。高橋と柳川のセットが決まればトップ争いに加わる可能性があるが、決まらなければ、山口辰也を含めた4番手争いとなることも考えられる。「絶対に取りこぼしのないようにしたい」と繰り返し語っていた中須賀が、どうレースメイクするか? 25周で争われる決勝レース。イニシアチブを握るのは、中須賀か? 加賀山か? それとも秋吉となるのか? 最終ラップの10%勾配をトップで駆け上がってくるのは、果たして!?

(佐藤寿宏)



2番手／加賀山就臣



3番手／秋吉耕佑

JSB 1000
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

ポールポジション：R1'27.370

#21 中須賀克行／ヤマハYSPレーシングチーム



中須賀克行がレコード更新でポールポジション！

初日から群を抜いて自分のタイムがよかったので、このまま進んでいけたらいいなと思っていたけれど、予選では周りもタイムを上げてきたので、そう簡単にはいきません。セッション2までは決勝に向けてしっかりセットを詰めていき、セッション3でアタックしました。正直、ここまでタイムが出るとは思わなかったし、全力で攻めた結果が数字に出ました。しかもヤマハのホームコースでレコードを取り返せたことが非常にうれしいです。常に攻め続けるのがライダーの成長に繋がると思っているのでインターバルに出場した世界耐久では、転倒もしましたが、全日本ではチャンピオンを奪還することがボクの目標なのでノーポイントのレースだけは絶対しないと決めています。ツライレースになると思いますが決勝も頑張ります。

ST 600
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP
QUALIFYING PRACTICE
REPORT & INTERVIEW

岩崎哲朗が全日本初ポールポジション獲得！ 「トップグループでいいレースがしたい」



ポールポジション：R1'31.487

#9 岩崎 哲朗／RS-ITOH&ASIA

（ポールポジション獲得は）ミラクルが起こったとは思えない。テストの時からいい方向性が見つかったので、奇跡が起こったのかもしれません。今までトップグループで走った経験がないので、決勝ではトップグループで最後までいい走りができるように頑張ります。その中で、またひとつ勉強して成長したいと思っています。できれば予選で出したタイムのコンマ5秒落ちくらいで周回したい。これから足回りをメカニックと相談しながら、決勝のセッティングを詰めていきます。

ST600の公式予選は、序盤はタイヤマハの2台がワン・ツアのポジションをキープしていたが、その後、岩崎哲朗がコースレコードを更新する1分31秒487をマーク。全日本で初のポールポジションを獲得した。

前日の金曜日に帰国し、ぶっつけ本番で公式予選に挑んだ津田拓也が1分31秒665で2番手。デチャ・クライサーが1分31秒719で3番手。チャランボン・ポラマイが1分31秒853で4番手。5番手以降は稲垣誠、横江竜司がそれぞれ1分31秒台で続き、渡辺一馬、伊藤勇樹、中富伸一、小林龍太が1分32秒台で続いている。



QUALIFYING PRACTICE REPORT & INTERVIEW

野左根航汰が初ポールポジションをゲット! 「30秒台に入れ、逃げのレースをしたい」



曇り空でスタートしたJ-GP2クラスの公式予選だったが、セッション後半では太陽がのぞき蒸し暑い中でのタイムアタックとなった。ポールポジションを獲得したのは、野左根航汰。タイムは1分31秒256で、全日本では初めてのトップグリッドとなった。

2番手には中本郡が1分31秒491、3番手に浦本修充が1分31秒493、4番手に渡辺一樹が1分31秒566、5番手に中本翔が1分31秒932で続き、ここまでの1分31秒台をマーク。以下、生形秀之、井上哲悟、高橋英倫、野田弘樹、大木崇行、岩田悟と1分32秒台で続いた。



ポールポジション：1'31.256

#31 野左根 航汰／ウエビックチーム／リックヤマハ

今までは予選4番手が最高なので初のフロントロウ獲得がポールポジションなのですごく、うれしいです。予選では1分31秒2まで出せたけれど、目標は30秒台だったのでそれがクリアできなかったのが、ちょっと悔しいです。決勝では30秒台を出してリードできるように頑張ります。勝つのは、かなり難しいことだと思いますが諦めずに行きたいですね。SUGOが一番好きなサーキットで、いい思い出もいっぱいあるので、ここで、しっかり結果を残したいですね。



QUALIFYING PRACTICE REPORT & INTERVIEW

長島哲太がコースレコードを大幅更新し ポールポジション獲得!



40分間で行われたJ-GP3の公式予選は、序盤からリーダーボードのトップに立ち続けていた長島哲太が、最後のアタックで、これまでのコースレコードを約1秒も更新する1分33秒658を叩き出し、文句なしのポールポジションを獲得。

2番手は1分34秒819の山田誓己。3番手は1分35秒166で森俊也。フロントロウの3人はいずれもティーンエイジャー。3番手以降は徳留真紀、仲城英幸のベテランが続き、セカンドロウの最後となる6番手には15才の亀井雄大。今大会でも、成長が著しい若手ライダーと実力派ベテランライダーの対決の構図が見られそうだ。



ポールポジション：R1'33.658

#45 長島 哲太／Project μ 7C HARC

目標は1分33秒台だったのですが、正直なところ入るかなって思っていました。セットも詰まって車体ができあがってきたので、まだタイムが伸びる要素がある。決勝では33秒前半でラップできればいいですね。藤沢監督からは、「32秒台の真ん中を出せれば(Moto3ライダーの)ビニャーレスに勝てるよ」って言われているので、決勝での目標は32秒台に入れることです。アペレージは33秒台が目標ですがバトルになると難しいと思うので、1周目から逃げて、筑波のときのように、ぶっちぎりのレースができるように頑張ります。

●予選:天候/晴 路面/ドライ 出走22台
●決勝スタート/15:35 (25周)

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	21	中須賀 克行	ヤマハYSPLレーシングチーム	YZF-R1	R1'27.370
2	71	加賀山 就臣	Team KAGAYAMA	GSX-R1000	1'27.675
3	1	秋吉 耕佑	F.C.C.TSR Honda	CBR1000RR	1'27.814
4	634	高橋 巧	MuSASHI RT/ハルクラブ	CBR1000RR	1'28.377
5	87	柳川 明	TEAM GREEN	ZX-10R	1'28.418
6	104	山口 辰也	TOHORacingwithMORIWAKI	CBR1000RR	1'28.775
7	32	今野 由寛	MotoMap SUPPLY	GSX-R1000	1'29.810
8	19	片平 亮輔	8810RwithMCR	CBR1000RR	1'30.361
9	33	藤田 拓哉	DOG FIGHT RACING・YAMAHA	YZF-R1	1'30.729
10	8	須貝 義行	チームスガイレレーシングジャパン	1098R BS	1'30.912
11	7	東村 伊佐三	RS-ITOH&ASIA	ZX-10R	1'30.947
12	11	清水 郁巳	ホンダドリームRT高崎 B'WISE RT	CBR1000RR	1'31.303

----- 以上第3セッションにて決定 -----

13	35	原田 洋孝	RSガレージハラダ姫路	NINJA ZX-10R	1'31.992
14	15	久保山 正朗	Honda浜友会浜松エスカルゴ	CBR1000RR	1'32.079
15	13	戸田 隆	ファーストスター>RIBE	S1000RR	1'32.177
16	17	吉田 光弘	Honda緑陽会熊本レーシング	CBR1000RR	1'33.219
17	29	井上 健志	炎R	CBR1000RR	1'35.963
18	38	北川 敏	DCRC ケービン 中村Eng	CBR1000RR	計測出来ず
19	55	須磨 貞仁	CONFIA HMF	GSX-R1000	出走せず
20	18	中村 知雅	チームトモマサ	CBR1000RR	出走せず
21	43	菊地 敦	TEAM・WILD☆HEART	CBR1000RR	出走せず

----- 以上第2セッションにて決定 -----

52	山下 広	Honda筑山レーシングチーム	CBR1000RR	1'37.083
----	------	-----------------	-----------	----------

----- 以上第1セッションにて決定 -----

参加台数:22台 出走台数:22台

予選通過基準タイム (110%) 1'36.596

※ Rマークはコースレコード 従来のタイム 1'27.523

●予選:天候/晴 路面/ドライ 出走37台
●決勝スタート/11:40 (20周)

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	9	岩崎 哲朗	RS-ITOH&ASIA	ZX-6R	R1'31.487
2	15	津田 拓也	WestPower	GSX-R600	1'31.665
3	30	DECHA KRAISART	YamahaThailandRacingTeam	YZF-R6	1'31.719
4	65	CHALERMPOL POLAMAI	YamahaThailandRacingTeam	YZF-R6	1'31.853
5	17	稲垣 誠	アケノスピード・MIC	YZF-R6	1'31.859
6	62	横江 竜司	森のくまさんMIZTEC仙台	YZF-R6	1'31.941
7	3	渡辺 一馬	KoharaRacing	CBR600RR	1'32.111
8	19	伊藤 勇樹	DOG FIGHT RACING・YAMAHA	YZF-R6	1'32.127
9	43	中富 伸一	HITMAN RC甲子園ヤマハ	YZF-R6	1'32.470
10	634	小林 龍太	MuSASHI RT/ハルクラブ	CBR600RR	1'32.556
11	77	井筒 仁康	RS-ITOH&ASIA	ZX-6R	1'32.713
12	75	Azian Shah Kamaruzaman	BOON SIEW HONDA RACING MALAYSIA	CBR600RR	1'32.722
13	52	Muhamad Zamri Bin Baba	PETRONAS/HongLeong.YAMAHA Malaysia	YZF-R6	1'32.966
14	25	清水 直樹	Express Houyou	YZF-R6	1'33.157
15	23	手島 雄介	CLUB PLUS ONE	CBR600RR	1'33.227
16	16	國川 浩道	HiRaNo・HouYou	CBR600RR	1'33.254
17	37	近藤 湧也	GBSレーシング	YZF-R6	1'33.356
18	20	中山 真太郎	TEAMしんたろうWithKRT	CBR600RR	1'33.444
19	26	篠崎 佐助	SP忠男レーシングチーム	YZF-R6	1'33.455
20	72	日浦 大治朗	HD Team12	CBR600RR	1'33.590
21	50	小島 一浩	TSRLレーシングスクール	CBR600RR	1'33.618
22	12	岡村 光矩	RSGLレーシング&ドリーム北九州	CBR600RR	1'33.708
23	53	中津原 尚宏	研友会栃木PGレーシング	CBR600RR	1'33.737
24	54	長嶋 修一	石井りんご園モトアルファ	CBR600RR	1'33.882
25	64	矢田 栄一郎	T.T.MOTO	YZF-R6	1'34.093
26	56	阿久津 晃輝	DOG FIGHT RACING・YAMAHA	YZF-R6	1'34.214
27	28	藤島 翔太	4Sure ホンダドリーム名古屋西	CBR600RR	1'34.220
28	73	庄司 秀人	Prime☆P/バド☆Link	YZF-R6	1'34.312
29	32	深津 拓真	チームスガイレレーシングジャパン	CBR600RR	1'34.437
30	44	松川 泰宏	MOTO BUM HONDA	CBR600RR	1'34.608
31	76	梶田 博文	Gltrax RSR三浦ポンプセンター	CBR600RR	1'34.773
32	58	熊谷 陽	PRIME★LINK★Pバ	YZF-R6	1'34.788
33	705	黒川 武彦	GARAGE SPEED	ZX-6R	1'35.660
34	91	中山 智博	91legend&孫悟空	ZX-6R	1'35.823
35	71	武田 誠	奥州レーシング	YZF-R6	1'35.840
36	61	鈴木 貴雄	Racing Discover	ZX-6R	1'35.937
37	51	飯島 高広	TEAM タカヒロ	YZF-R6	1'36.890

----- 以上予選通過 -----

55	長谷川 直樹	CONFIA・HMF&AS小笠原	GSX-R600	リタイア
67	医王田 章弘	RS-ITOH&ASIA	ZX-6R	リタイア

参加台数:39台 出走台数:37台

予選通過基準タイム (110%) 1'40.636

※ Rマークはコースレコード 従来のタイム 1'31.553

●予選:天候/晴 路面/ドライ 出走43台
●決勝スタート/10:30 (20周)

Pos	No.	Cls.	Name	Team	Machine	BestTime
1	45		長島 哲太	Projectu7C HARC	NSF250R	R1'33.658
2	5	y	山田 誓己	TEAM PLUSONE & ENDURANCE	NSF250R	R1'34.819
3	9		森 俊也	Team NOBBY	NSF250R	R1'35.166
4	634		徳留 真紀	MuSASHI RT/ハルクラブ	NSF250R	R1'35.381
5	3		仲城 英幸	Projectu7C HARC	NSF250R	R1'35.450
6	16	y	亀井 雄大	18 GARAGE RACING TEAM	NSF250R	R1'35.540
7	4		山本 剛大	Team NOBBY	NSF250R	1'35.956
8	6		菊池 寛幸	KoharaRacing	NSF250R	1'35.965
9	50	y	長尾 健吾	ウイダー チームアイファクトリー	NSF250R	1'36.249
10	55	y	國峰 啄磨	JARI Racing+ENDURANCE	NSF250R	1'36.639
11	13		岡田 義治	T.ヨシハルASPIRATION	NSF250R	1'36.888
12	31	y	佐野 優人	SRS-JwithMORIWAKI	MD250	1'36.898
13	41		小室 旭	41PLN・Globalcommunication.loda	JR002	1'36.928
14	18	y	北見 剣	ウイダー チームアイファクトリー	NSF250R	1'36.961
15	22		高杉 奈緒子	モトバムwithヒポボタス	NSF250R	1'37.081
16	21	y	瀧美 心	レーシングチームハニービー	NSF250R	1'37.109
17	14		大西 隼	Projectu7C HARC	NSF250R	1'37.139
18	75		古市 右京	ASPIRATION A-next	NSF250R	1'37.226
19	99	y	中本 貴也	18 GARAGE RACING TEAM	NSF250R	1'37.270
20	74		三原 壮紫	ウイダー チームアイファクトリー-BB	NSF250R	1'37.286
21	73	y	岡部 圭佑	CLUB PLUS ONE	NSF250R	1'37.348
22	56	y	前田 恵助	ウイダー チームアイファクトリー	NSF250R	1'37.442
23	47		安村 武志	犬の乳酸菌JP/グリミティブRT	NSF250R	1'37.595
24	29		石崎 司也	MOTOBUM&たかだ農園	NSF250R	1'37.737
25	72	y	三好 菜摘	オールスターモータースポーツ	NSF250R	1'37.812
26	70		葛西 雅也	タニシ&Speed Heart YERC	NSF250R	1'37.869
27	66	y	益田 晨央	ウイダー チームアイファクトリー	NSF250R	1'37.933
28	93		谷川 壮洋	CLUB PLUS ONE	NSF250R	1'37.959
29	81	y	高橋 颯	レーシングチームハニービー	NSF250R	1'38.090
30	26		矢作 雄馬	BIR Racing	NSF250R	1'38.209
31	34		佐藤 正之	BIR Racing	NSF250R	1'38.626
32	43		畑中 要	FTF・タイヤナビ・横遠藤住宅	NSF250R	1'38.661
33	33		川瀬 啓一郎	チーム KOHSAKA	NSF250R	1'38.926
34	52	y	鳥羽 蓮	TEAM TEC2 & TDA	TEC2-12	1'39.337
35	48	y	大塚 和人	チームKOHSAKA+M-KID'S	NSF250R	1'39.401
36	88		岡崎 静夏	KoharaRacing	NSF250R	1'39.411
37	85		平子 剛志	クルーズレーシングチーム	CRF250R	1'39.440
38	46	y	伊達 悠太	犬の乳酸菌/PRCS&バトルF	NSF250R	1'39.845
39	44	y	林 祥由	TEAM YERC ドリームキッズ	NSF250R	1'39.973
40	102		阿部 徹郎	あべスピ・ヤマハ&カレッジL8	WR250F	1'40.220

----- 以上予選通過 -----

51	鈴木 正雄	TEAM X-LAND	NSF250R	1'40.247
71	中堂 翔太	テルル&イー・モバイル★KoharaRT	NSF250R	1'40.354
20	深津 拓真	TEAM PLUS ONE	NSF250R	1'40.946

参加台数:43台 出走台数:43台

予選通過基準タイム (総合:110%) 1'43.024

※ Rマークはコースレコード 従来のタイム 1'35.660

●予選:天候/晴 路面/ドライ 出走17台
●決勝スタート/14:30 (20周)

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	31	野左根 航汰	ウエビックチームノリックヤマハ	YZW-N6	1'31.256
2	16	中本 翔	リリカAMENA with out Run	YZF-R6	1'31.491
3	634	浦本 修充	MuSASHI RT/ハルクラブ	CBR600 HP6	1'31.493
4	26	渡辺 一樹	RS-ITOH&ASIA	ZX-6R	1'31.566
5	47	中本 翔	リリカAMENA with out Run	YZF-R6	1'31.932
6	3	生形 秀之	エスバルドリームレーシング	GSX-MFD6	1'32.382
7	54	井上 哲悟	PITCREW&松戸FLASH	ZX6R	1'32.625
8	51	高橋 英倫	PITCREW&松戸FLASH	ZX6R	1'32.672
9	10	野田 弘樹	テルル&イー・モバイル★KoharaRT	TSR6	1'32.760
10	14	大木 崇行	MOTO BUM HONDA	CBR600RR	1'32.847
11	34	岩田 悟	CLUB PLUS ONE	HP6	1'32.937
12	57	中村 豊	MOTO BUM HONDA	CBR600RR	1'33.653
13	46	星野 知也	ミクニBeatデリー&カリ	GSX-R600 L1	1'33.994
14	19	小口 理	ALLMAN&OWracing	YZF-R6	1'34.561
15	392	津田 一磨	ミクニBeatデリー&カリ	GSX-R600	1'35.405
16	79	朝比奈 正	アサヒナレーシング	Z600	1'36.626
17	37	赤間 清	CLUB HARC-PRO.	CBR600 HP6	1'38.431

----- 以上予選通過 -----

参加台数:17台 出走台数:17台

予選通過基準タイム (110%) 1'40.382

INFORMATION



全日本ロードレース選手権シリーズ テレビ放映予定

2012年シーズンは全日本ロードレース選手権、そして全日本モトクロス選手権がレース開催8日後に録画映像で放送されることになりました。放送局はBS12 Twelliv(トゥエルビ)で完全無料放送となります。現場ではカバールでできなかったシーンや迫力のバトルをあらためてお楽しみください!!

■放映スケジュール

全日本ロードレース選手権第6戦SUGO 9月3日(月) 20:00~20:55

詳しくはファンサイトへ→<http://superbike.jp/>

TIME TABLE

※タイムテーブルは、変更されることがあります。

第6戦スポーツランドSUGO 8月26日(日)

10:15	- J-GP3 コースイン〜選手紹介
10:30	- J-GP3決勝レース..... 20Laps
11:25	- ST600 コースイン〜選手紹介
11:40	- ST600決勝レース..... 20Laps
13:20 -14:00	- ビットワーク / コースウォーク
14:10	- J-GP2 コースイン〜選手紹介
14:25	- J-GP2決勝レース..... 20Laps
15:20	- JSB1000 コースイン〜選手紹介
15:35	- JSB1000決勝レース..... 25Laps